

# KM-CARTについてのご案内

CARTは腹水を抜いて、体に有用な蛋白成分を濾過濃縮して点滴で体に戻す方法です。日本消化器病学会肝硬変診療ガイドライン(2020)や腹膜播種診療ガイドライン(2021)では大量腹水症例に有用な選択肢の一つとされています。

**KM-CART**は従来のCARTとは大きく異なり、腹水を全量抜いて従来の3-4倍の速度で処理可能な患者さんに大変メリットがある方法です。九州では既に2022年3月までに**約7000例**実施され、当院院長は約700例の経験があります。

## 対象疾患

- 各種がんや肝硬変等による難治性腹水

## 治療効果

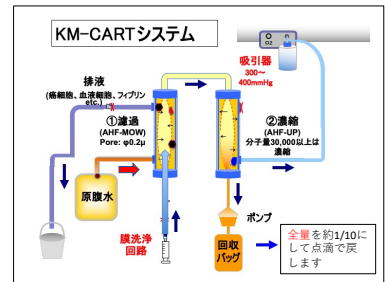
- 重度の副作用がほとんどなく、安全に行えます。  
(38℃以上の発熱10%, 血圧低下30%等)
- 腹水を全量除去するため、圧迫がとれ呼吸も楽になり、食欲改善、腎機能改善、下肢浮腫の軽快等症状緩和に大きなメリットがあります。
- 根本的治療ではありませんので2-3週間程度で再貯留の可能性があります。  
(次回CARTまでの期間: 癌性 $26.3 \pm 26.5$ 日、肝性 $43.9 \pm 56.0$ 日)  
がん性腹水の場合、抗癌剤、免疫療法などで効果が延長する可能性があります。

## 治療の実際

- 通常2泊3日入院で治療します。腹水を3時間程度で全量除去し(平均7L,最大18L)、アルブミンやグロブリンなどの濾過濃縮液を数時間かけて点滴で戻します。
- 保険適応です。(自己負担は3割負担で約6-7万円)
- 全身状態によっては残念ながら施行できない場合もあります。



腹水全量除去



ちくし那珂川病院  
渡邊 昭博

Akihiro WATANABE  
Chikushi Nakagawa Hospital



九州大学第二外科(消化器・総合外科)出身  
日本CART研究会世話人、九州CART研究会代表世話人  
福岡歯科大学外科准教授、大分県立病院がんセンター外科部長、  
防府消化器病センター副院長、ちくし那珂川病院院長  
日本消化器外科学会指導医、日本外科学会認定登録医  
日本消化器内視鏡学会専門医、日本緩和医療学会所属  
H24年度日本外科学会研究奨励賞受賞

社会医療法人 喜悦会

二日市那珂川病院

